

大野一心

NO.16

令和3年10月14日（木） 文責：校長 諸熊 修一

令和3年度後期スタート！

後期がスタートしました。新型コロナウイルス感染症予防のため放送で行った始業式では、私から「今、目の前にある面倒なことを避けて、一つ一つ乗り越えていくこと。面倒だからやらないではなく、面倒だからこそ、やるのが大事である」という話をしました。後期は、多くの学校行事があります。生徒会役員改選もあります。3年生は本格的に進路決定に向けて進んでいきます。後期は、ぜひ「面倒なことを進んでやる」学期にしてほしいと思います。



それぞれの学年から決意の言葉が発表されました。各学年代表者の決意の言葉を紹介します。

1年 浦川晃登さん



今年4月僕は、一つの目標をもって入学しました。その目標は、テストで一教科90点以上取ることでした。しかし、小学校と違ってテスト範囲が広くなり、目標を達成できませんでした。後期には授業で習ったことを復習して、テスト前には計画表を作って、それに沿って自主的に勉強し、目標を達成していきたいです。

学年全体としては、「心を一つに」という目標のもとに学校生活を送っています。前期最後の学校行事である野外学習活動では、実行委員を中心に係や班のメンバーと協力して無事に過ごすことができました。しかし、時間とルールを守ることが僕たち1年生の課題です。後期は、二分前着席、一分間黙想を徹底していき、生活部や友達の呼びかけにすぐ反応できるような学年にしていきたいです。

2年 平山俊輔さん

2年生にとって今日で、中学校生活残り半分になりました。今の2年生にとっての課題は「制服の乱れ」や「休み時間の過ごし方」です。服装が乱れてきているということは、気持ちが乱れているということです。その気持ちが「時間を

守れない」「授業に集中できない」などにつながっていると思います。時間については、呼びかけがなくても3分前入室、2分前着席、1分前に黙想を徹底していく必要があります。また、あいさつ率も低い状況です。この問題は、学校全体で取り組まないといけません。あいさつは、どんな時でも必



要です。あいさつをすることで、印象もよくなります。しっかりとこの問題に向き合い、改善していきましょう。

逆に2年生のよいところは、「やるときはしっかりやる」ということです。今後は、生徒会役員改選や部活動など、様々な場面で学校の顔として活動する場面が増えてきます。後輩たちのお手本となる態度で学校生活を過ごし、行動で引っ張っていけるような2年生に成長していきたいです。

3年 畑原 桜さん

新しい学年になって半年が過ぎ、今日から後期が始まります。私たち3年生にとって、残りの半年間はそれぞれの進路実現に向けてとても大切な時間です。だから、私は前期の反省を踏まえて、次の3つを目標に後期を過ごしていきたいです。

一つ目に、高校入試を意識して学習に取り組むことです。特に、苦手な教科を得意な教科に変えることが大きな

目標です。そのためには、教科にあった勉強方法を知ったり、勉強しやすい環境を整えたりすることがとても大切だと感じました。私は苦手な数学を克服するために、毎日の授業に参加することはもちろん、積極的に先生や友達に尋ねることで、今後に備えたいです。受験生の私たちには、充実した家庭学習も求められています。集中力を高め、メリハリをつけて取り組むよう意識し、毎日の授業で積極的に学ぶことで、家庭での学習をより充実させましょう。

二つ目に、学校行事を楽しむことです。合唱コンクールをはじめ、修学旅行や卒業式などたくさんの行事があります。どれも私たちにとって、中学校生活最後です。今、各クラスが合唱コンクールに向けて、一種懸命に練習していることと思います。全員で金賞を目指すなど一つの目標に向けて協力することで、学校の士気が高まったり、学級の雰囲気よくなったりすることは、学校生活へ大きく影響すると思います。学校行事の意図を考え、全員が楽しめるようにしたいです。

三つ目に、言葉遣いです。これは、毎日の生活や面接のときに正しい言葉遣いができていないと失礼にあたるためです。私は、正しい言葉遣いができているか自信がないので、後期は意識して過ごし、受験を迎えたいと思います。

私立高校の受験まで、約100日となりました。進路実現に向けて私ができることは、先ほど述べた3つの目標を意識し、一日一日を過ごすことです。これから自分の学力や進路について不安になることがあると思いますが、同級生や友人らと切磋琢磨し、互いの実力を伸ばしていきたいです。全員が志望校合格を目指して頑張りましょう。



【学力向上に関する研修会】

10月13日(水)の5校時、2年1組で国語の研究授業を行いました。佐世保市教育委員会からは2名の指導主事が来校し、研究授業を基にしながら研究協議を行いました。本校の学力向上に係る課題や改善策についても指導助言をいただき、今後とも全職員で研修を深め、授業改善に努めていきます。

